

運営委員選挙結果

高原文郎（25票）、佐藤勝彦（22票）、池内 了（19票）、中村卓史（19票）、
佐々木節（16票）、稲垣省五（16票）、

次点：土佐 誠（14票）。 投票総数：291票

選挙の結果、5位が同点二名となりましたが、高原運営委員長の判断で、新運営委員は6名となりました。これに留任委員

柴橋博資、杉本大一郎、野本憲一、藤本光昭、観山正見

の5名を加えた、計11名がこれから1年の運営委員となります。運営委員の互選の結果

野本憲一氏

が運営委員長になりました。

運営委員会報告

日時： 1989年12月26日（火） 12:00-13:30
場所： 国立天文台（会議室）

総会報告

日時： 1989年12月27日（水） 16:00-17:00
場所： 国立天文台（講義室）

1. 報告

- ・国立天文台にスーパーコンピューターを導入するためのパンフレットを作りました。費用約70万円の内10万円を理論懇から出します。国立天文台来年度概算要求にスーパーコンピューターを出すことになっています。

2. 京都大学基礎物理学研究所について

前回の理論懇ニュースで、佐藤勝彦氏が書かれていたように、広島大学理論物理学研究所が京都大学基礎物理学研究所と合併し、来年度初めに京大宇治キャンパスに移転し、新基研が発足することが予定されています。その運営にあたる研究部員会議および運営委員会の選挙母体のひとつに理論懇なることを希望することになりました。具体的な形態としては、

- A. 理論懇のメンバーは全員選挙母体になる。
- B. 理論懇の中で有権者グループを作る。
- C. 形式的には新しい組織を作る。

の3案が考えられますが、どれが適当か近日中にアンケートを取り、天文学会春季年会の際には決定する予定です。また、B案、C案とする場合、事務局を別に作るかどうかも問題になります。

3. 国立天文台諸委員の選出について

運営協議委員は5月学会後7月位までに、理論懇での選挙で5名くらい推薦することになります。その他の委員は秋の学会後11月位までに推薦することになります。なお、諸委員について、理論懇では、1人1委員会、重任は2期までとなっています。

4. 来年度理論懇シンポジウムについて

来年度も国立天文台内で今年度と同じ時期に開くことになりました。世話人は、梅村、松田、野本の三氏です。

京都大学理学部宇宙物理学教室内
理論天文学懇談会事務局

新入会員

表 寛
〒305 茨城県つくば市天王台
筑波大学物理学系
Tel:0298-53-4280
Fax:0298-53-4010
Email:omote@athena.ph.tsukuba.ac.jp